

環太平洋パートナーシップ参加国の閣僚及び代表による 共同声明（仮訳）

2014年10月27日

（於：シドニー・オーストラリア）

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの閣僚及び代表は、環太平洋パートナーシップ協定交渉の妥結に向けた基礎を作るための3日間の閣僚会合を終えた。我々の会合は、2014年10月19日から24日まで行われた、1週間に及ぶキャンベラでの事務レベルの議論に続いて開催された。

我々は、協定が発効し次第、TPP地域を定義し、形成し、統合する、市場アクセス交渉及び貿易投資ルール交渉という、TPP協定の要素となる部分について、ここ数週間で実質的に進展させたことを報告できることを喜ばしく思う。

週末の会合の間に、我々は、一対一の議論にかなりの部分の時間を費やした。これにより、我々は、物品、サービス、投資の市場アクセス交渉を更に進展させることができた。我々は、TPP交渉を終結させる準備を行うのに役立つ様々な論点について決断を下すために、全体会合の形式で集まった。

我々は、野心的で包括的な高い水準のバランスの取れた協定の全体像が具体化しつつあると考えている。我々は、各国にとって意味のある経済的、戦略的な利益をもたらすために、閣僚間での取り組み及び交渉チーム間での取り組みに集中し、国内で幅広く協議を行い、残された課題を解決するべくお互いに集中的に作業を行うことを継続する。

我々は今、我々が与えた指示を実行するため、首席交渉官にバトンを手渡す。

我々は、本会合における進展を基に継続して前進し、数週間以内に再び会合を開催する。